

## 2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：

情報処理科3年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	Java文法 I	1	30	2	必修	実習	有
2	Java文法 II	1	30	2	必修	実習	有
3	Java演習 I	1	30	2	必修	実習	有
4	Java演習 II	1	30	2	必修	実習	有
5	データベース演習(SQL)	1	60	4	必修	実習	有
6	アルゴリズム I	1	30	2	必修	講義	有
7	アルゴリズム II	1	30	2	必修	講義	有
8	システム設計	1	30	2	必修	講義	有
9	セキュリティ I	1	30	2	必修	講義	無
10	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
11	ハードウェア I	1	30	2	必修	講義	有
12	ハードウェア II	1	30	2	必修	講義	有
13	ネットワーク I	1	30	2	必修	講義	無
14	ネットワーク II	1	30	2	必修	講義	無
15	ホームページ I	1	60	4	必修	実習	有
16	ホームページ II	1	30	2	必修	実習	有
17	PC/OS基礎	1	30	2	選択	講義	無
18	表計算基礎 I	1	30	2	必修	実習	有
19	表計算基礎 II	1	60	4	必修	実習	有
20	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	無
21	ITパスポート対策 I	1	30	2	必修	講義	有
22	ITパスポート対策 II	1	30	2	必修	講義	有
23	基本情報対策 I	1	60	4	必修	講義	有
24	基本情報科目A対策	1	30	2	必修	講義	有
25	基本情報科目B対策	1	30	2	必修	講義	有
26	基礎学力 I	1	30	2	必修	講義	無
27	基礎学力 II	1	30	2	選択	講義	無
28	ビジネスマナー I	1	30	2	必修	講義	有
29	経営	1	30	2	必修	講義	有
30	体育実習 I	1	60	4	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java文法 I		小泉 真理子 高橋 義博	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

プログラミング初心者を対象に、Java言語を通じてプログラミングの基礎を習得する。

## 【講義概要】

プログラムの作成方法、コンパイル、実行の仕方を学習する。また、基本的な制御構造として、if/while/for/switch文などを完璧にマスターする。夏季休暇中に課題レポートをおこなう。教科書をベースに説明するため、教科書は毎回必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	Java言語に触れてみる, Java言語のプログラム構成, Java言語の基本: 出力, 変数, 算術演算子と式
2	Java言語の基本: 型変換と文字列の扱い, キーボードからの入力
3	条件分岐: if文, switch文
4	繰り返し: 論理演算子, 処理の繰り返し
5	処理の繰り返し, 配列
6	中間試験対策
7	中間試験
8	配列, 多次元配列
9	クラスの基本: クラスの利用, メソッドの基本
10	メソッドの基本: メソッドの引数, メソッドの戻り値
11	クラスの機能: メンバへのアクセスの制限
12	メソッドのオーバーロード
13	コンストラクタの基本
14	期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

小泉: SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

高橋: 15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

基礎からのJava 改訂版、宮本 信二 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java文法Ⅱ		小泉 真理子 高橋 義博	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Java言語を通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念及び実装力を身につける。

## 【講義概要】

オブジェクト指向プログラミングとは何たるかを講義する。具体的には、クラス、継承、インタフェース、多態性、カプセル化について学ぶ(順番は前後する可能性有り)。冬季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	コンストラクタの基本
2	コンストラクタのオーバーロード
3	アクセス修飾子について、セッターとゲッター
4	標準Libraryについて
5	文字列について
6	中間試験対策
7	中間試験
8	例外について
9	パッケージとクラスパスについて
10	継承について
11	ポリモーフィズムについて
12	クラスの応用
13	コレクション、list、Setについて
14	期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

小泉：SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

基礎からのJava 改訂版、宮本 信二 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制	2024	1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習 I	小泉 真理子 高橋 義博	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

プログラミング初心者を対象に、Java言語を通じてプログラミングの基礎を習得する。

## 【講義概要】

プログラムの作成方法、コンパイル、実行の仕方を学習する。また、基本的な制御構造として、if/while/for/switch文などを完璧にマスターする。夏季休暇中に課題レポートをおこなう。教科書をベースに説明するため、教科書は毎回必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	Java言語に触れてみる, Java言語のプログラム構成, Java言語の基本:出力, 変数, 算術演算子と式
2	Java言語の基本:型変換と文字列の扱い, キーボードからの入力
3	条件分岐: if文, switch文
4	繰り返し: 論理演算子, 処理の繰り返し
5	処理の繰り返し, 配列
6	ここまでのまとめ
7	総合演習1
8	配列, 多次元配列
9	クラスの基本: クラスの利用, メソッドの基本
10	メソッドの基本: メソッドの引数, メソッドの戻り値
11	クラスの機能: メンバへのアクセスの制限
12	メソッドのオーバーロード
13	コンストラクタの基本
14	総まとめ
15	総合演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

小泉: SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

高橋: 15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

基礎からのJava 改訂版、宮本 信二 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制	2024	1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ	小泉 真理子 高橋 義博	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Java言語を通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念及び実装力を身につける。

## 【講義概要】

オブジェクト指向プログラミングとは何たるかを講義する。具体的には、クラス、継承、インタフェース、多態性、カプセル化について学ぶ(順番は前後する可能性有り)。冬季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	コンストラクタの基本
2	コンストラクタのオーバーロード
3	アクセス修飾子について、セッターとゲッター
4	標準Libraryについて
5	文字列について
6	中間試験対策
7	中間試験
8	例外について
9	パッケージとクラスパスについて
10	継承について
11	ポリモーフィズムについて
12	クラスの応用
13	コレクション、list、Setについて
14	期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

小泉：SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

基礎からのJava 改訂版、宮本 信二 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習(SQL)	清野ひろし	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

SQLによるDB操作を使いこなせるようになること。DB操作のうち、テーブル操作（定義、挿入、更新、削除）技術を実習することによって理解する。

## 【講義概要】

各回ごとに説明～実習を行う。SQL文の使い方を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	SQL概略、実習手順、射影と選択、whereの条件
2	whereの文字列検索(like)
3	計算式、as、集合関数
4	表示での並び替えorder
5	グルーピングgroup by
6	グルーピングgroup byでの条件having
7	表同士の結合（内部結合）
8	表同士の結合（外部結合）
9	サブクエリーの原理。exist
10	条件のany、all
11	表の定義、行の挿入、更新、削除
12	union、定数表示による集計
13	組込み関数
14	まとめ問題1
15	まとめ問題2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%	0%	20%	5%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

8年程度PG, SEとして実務経験あり。主に言語関係(C, java, C++, C#, php, python)、linux、DBなどを担当する。

## 【教科書・参考文献】

特になし。必要な資料は配布する。

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム I	川前 亘	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・フローチャートの表現方法を理解する
- ・基本情報技術者試験で使用する擬似言語を理解する
- ・論理的思考力、基本的なアルゴリズム、およびデータ構造についても学習する。

## 【講義概要】

前半は座学とプリント演習で、プログラミングの基礎技術を学びながらアルゴリズムを考える力（論理的思考）を身に付けていく。  
後半はシュミレーターで課題を行っていき、実技的にプログラミング能力を付けていく。  
適時、小テストや課題を実施して段階的に力を付けていく

## 回 授業計画及び学習の内容

1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、擬似言語（順次）
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（繰り返し）
5	関数
6	集計①、中間試験対策
7	中間試験
8	集計②、二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本選択法）
13	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%	0%	10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

## 【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	アルゴリズムⅡ	川前 亘	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・フローチャートの表現方法を理解する
- ・基本情報技術者試験で使用する擬似言語を理解する
- ・論理的思考力、基本的なアルゴリズム、およびデータ構造についても学習する。

## 【講義概要】

前半は座学とプリント演習で、プログラミングの基礎技術を学びながらアルゴリズムを考える力（論理的思考）を身に付けていく。  
後半はシュミレーターで課題を行っていき、実技的にプログラミング能力を付けていく。  
適時、小テストや課題を実施して段階的に力を付けていく

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、擬似言語（順次）
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（繰り返し）
5	関数
6	集計①、中間試験対策
7	中間試験
8	集計②、二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本選択法）
13	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%	0%	10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

## 【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	システム設計	清野ひろし	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

システム設計技術の基本となるウォーターフォールモデルの流れに沿って、設計に必要な技術を学習する。その上でデータ中心設計やアジャイル開発の目的や意味するところを学習する。

## 【講義概要】

ウォーターフォールモデルを基にして、設計の各段階でやるべきことを学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	シラバス説明、システム開発モデル
2	開発コストモデル、要求仕様
3	要求仕様、システム化準備
4	練習問題Aの解説、システム分析手法
5	システム設計図法 DFD、E-R図
6	構造化チャート
7	中間試験で理解度のチェック
8	中間試験開設、練習問題Bの解説、システム設計技法
9	外部設計
10	内部設計
11	練習問題C解説、プログラム設計
12	プログラム設計
13	DBのテーブル設計
14	練習問題D解説、DB課題説明、期末範囲説明
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%	0%	15%	10%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

8年程度PG, SEとして実務経験あり。主に言語関係(C, java, C++, C#, php, python)、linux、DBなどを担当する。

## 【教科書・参考文献】

特になし。資料による授業

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	セキュリティ I	鹿子木 範昭	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用

## 【講義概要】

セキュリティインシデントの予防と対応のための基礎知識・技術をテキストを中心に学ぶ。 資格試験対策として小テストを実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報通信白書による情報セキュリティインシデントの事例研究
2	情報セキュリティの概念
3	情報資産に対する脅威
4	情報システムに対するセキュリティ上の脅威
5	情報システムの脆弱性
6	前半のまとめ
7	中間試験
8	暗号化システムの基礎
9	認証技術
10	デジタル署名
11	ネットワークセキュリティ技術 その1
12	ネットワークセキュリティ技術 その2
13	情報セキュリティ関連法規
14	後半のまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	70%	20%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学学部、大学院で20年以上教育に従事

## 【教科書・参考文献】

-

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	有	30単位 2時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

## 【講義概要】

テキストでの講義の他、毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定の技法
5	信頼性の評価☒
6	ヒューマンインタフェース☒
7	中間試験☒
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

会計事務所にて税務会計および中小企業のIT化コンサルタントを担当  
大学などで情報処理技術者試験などの資格講座講師

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ハードウェア I	清野ひろし	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ソフトウェア技術者に必要とされるハードウェア知識を学習する。IoTだけでなくスマホなどでも各種センサーを標準装備している。ソフト技術もハードウェア分野についての基礎知識は重要である。

## 【講義概要】

ハードウェアの基礎知識を学び、FE（基本情報処理技術者試験）の過去問を題材にした練習問題で理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	シラバス説明、コンピュータの基本構成、データ表現
2	基数変換（整数、小数）
3	データの表現形式、文字データ
4	数値データ、10進数、2進数、固定小数点、補数
5	浮動小数点データ、誤差
6	計算問題のまとめと復習
7	中間試験
8	中央処理装置、主記憶装置
9	命令とアドレッシング、割込み
10	ALU（算術論理演算回路）の構成、論理回路、真理値表
11	加算器、順序回路、フリップフロップ
12	高速化技術（メモリアクセス、プロセッサ）
13	補助記憶装置（磁気ディスク、その他）
14	入出力装置、インタフェース
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	0%	10%	10%	0%	100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

8年程度PG, SEとして実務経験あり。主に言語関係（C, java, C++, C#, php, python）、linux、DBなどを担当する。

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ハードウェアⅡ	清野ひろし	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ソフトウェア技術者に必要とされるハードウェア知識を学習する。IoTだけでなくスマホなどでも各種センサーを標準装備している。ソフト技術もハードウェア分野についての基礎知識は重要である。

## 【講義概要】

ハードウェアの基礎知識を学び、FE（基本情報処理技術者試験）の過去問を題材にした練習問題で理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	シラバス説明、コンピュータの基本構成、データ表現
2	基数変換（整数、小数）
3	データの表現形式、文字データ
4	数値データ、10進数、2進数、固定小数点、補数
5	浮動小数点データ、誤差
6	計算問題のまとめと復習
7	中間試験
8	中央処理装置、主記憶装置
9	命令とアドレッシング、割込み
10	ALU（算術論理演算回路）の構成、論理回路、真理値表
11	加算器、順序回路、フリップフロップ
12	高速化技術（メモリアクセス、プロセッサ）
13	補助記憶装置（磁気ディスク、その他）
14	入出力装置、インタフェース
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	0%	10%	10%	0%	100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

8年程度PG, SEとして実務経験あり。主に言語関係（C, java, C++, C#, php, python）、linux、DBなどを担当する。

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ネットワーク I	石川 章	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。

## 【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ネットワークの歴史と基礎知識
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御
6	前半の補足と復習
7	中間試験
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器
13	通信プロトコルとOS I 参照モデル
14	後半の補足と復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		30%			100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	ネットワークⅡ		石川 章	無	2単位	30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。

## 【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	IPアドレス
2	TCP/IP (1)
3	TCP/IP (2)
4	サーバ (1)
5	サーバ (2)
6	通信回線の計算・認証
7	前半の復習と補足
8	中間試験
9	インターネット関連技術
10	暗号
11	セキュリティ技術・ファイアウォール
12	マルウェア・サイバー攻撃
13	無線LAN・IPv6
14	後半の復習と補足
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	70%		30%			100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	実習	ホームページI		高橋 義博	有	4単位 60時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブサイトやウェブシステムの基本技術であるHTML・CSSの基礎を学び、複数ページあるウェブサイトを完成させることを目標とする。

## 【講義概要】

ウェブサイト制作のための環境構築から、HTML・CSSの基本から応用を学んでいく。各技術の学習だけでなく、ウェブページを作成することを意識しながら学習していく。夏季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	ウェブサイト制作のための環境構築、エディタの使い方、HTMLの基礎
2	HTMLの基礎、見出し、段落、リスト、グループ化
3	テーブルについて、リンクと画像の挿入
4	CSSの基礎、CSSファイルの読み込み
5	CSSの基礎、CSSファイルの読み込み、各スタイルの設定
6	ボックスモデル、背景画像の設定
7	小テスト1
8	フレックスについて
9	2ページ目とグリッドレイアウト1
10	2ページ目とグリッドレイアウト2
11	サイトの公開とFTPツールについて、小テスト2
12	自己紹介サイト制作1
13	自己紹介サイト制作2、プレゼン
14	課題レポート
15	課題ウェブサイト制作

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)  
・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ホームページⅡ		高橋 義博	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

前期で学んだHTML・CSSを活かして、スマホ・タブレット対応を学習する。また、ウェブシステム開発に必要なフォームの学習も行い、今後の学習に活かしていく。

## 【講義概要】

ウェブサイトは、スマホから閲覧する人が多いため、スマホ対応・タブレット対応したウェブサイト制作を学習していく。また、SNSやECサイトなどフォームを使う機会も多いため、フォームの役割や制作方法を学んでいく。冬季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	前期の復習、フォームの基礎知識、お問い合わせページの概要、フォーム全体の親要素、セレクトリスト
2	ラジオボタンとチェックボックス、テキストフィールド、テキストエリア、送信ボタン
3	ラベル、フォームのスタイル、送信ボタンのスタイル
4	レスポンシブデザイン、ビューポート、メディアクエリとブレイクポイント
5	ホームページのヒーロー画像のサイズを調整
6	メニューページの列数を変更
7	小テスト
8	Google Map、Youtubeの埋め込み
9	検索エンジン対策
10	フォントについて
11	自己紹介サイト制作のスマホ対応
12	プレゼン
13	プレゼン
14	課題レポート
15	課題サイト制作

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	講義	PC/OS基礎	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ICTを体系的に学ぶことができる「CompTIA IT Fundamentals」をベースとし、この認定資格の取得、あるいは同等のICT基礎知識と主に、PCやその周辺機器に関するスキルを身につける。

## 【講義概要】

これからICTエンジニアを目指す方々に必要なコンピュータの基礎知識を講義と実習形式で体系的にお伝えすると共に、実経験に基づいた実践力や考え方、ノウハウ、最新の技術情報等も交えて学習していく。復習としてラボによる実習と、E-Learningによる知識の定着を図る。また、実際にその技術が活用されるイメージいただくための補足も加える。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション・ICTの概要を学習
2	オペレーティングシステムの概要の学習
3	ソフトウェアの学習（ソフトウェアプログラムの基礎、アプリケーションソフトウェア
4	ソフトウェアの学習（ソフトウェアプログラムの基礎、アプリケーションソフトウェア
5	プログラミングとアプリ開発の学習
6	データベースの学習（データベースの概要、RDBMSを中心とした解説
7	中間試験
8	ハードウェアの学習、コンピュータ内部（CPU、メモリー、ストレージ、ネットワーク）
9	ハードウェアの学習、コンピュータ内部（CPU、メモリー、ストレージ、ネットワーク）
10	ハードウェアの学習、デバイスインタフェース、ファイルシステム
11	ネットワークの学習、トポロジー、IPアドレスの世界、ネットワーク接続
12	ネットワークの学習、共有ストレージ、モバイルデバイス
13	セキュリティの概要、ベストプラクティスの実践
14	セキュリティのアクセス制御について他、人間の行動に関するセキュリティの懸念
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	表計算基礎 I	佐藤 薫	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Excel2019を使用して表計算の仕組みと特徴を理解し、データ入力から表作成と編集、四則演算と合計や平均などの基本の関数、グラフ機能を実習して表計算の基礎を習得することが目的。必須課題は必ず提出すること。また再提出となった課題は修正点を修正して提出すること。

## 【講義概要】

Excelの機能を正しく習得するために、前半の機能の説明をよく聞きながら操作練習し、理解した後で課題（1～2問）を仕上げる。不明点は積極的に質問して理解を深めること。プリント等の応用問題、用語や機能に関する小テストもあり。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章（Excelの画面構成、基本用語、データ入力、保存）
2	第2章（四則演算、合計の関数、簡単なグラフ作成、印刷設定）
3	第3章（表の編集機能、平均の関数、セル番地の相対参照）
4	第3章（表示形式の変更、罫線、セルのスタイル）
5	第4章（セル番地の絶対参照、文字属性の変更）
6	第4章（最大・最小の関数、データカウントの関数）
7	第4章（数値の端数処理の関数、セルとシートの保護）
8	第4章（条件処理の関数、関数のネスト）
9	総合練習問題-1
10	第4章（条件付き書式、スパークライン）
11	第5章（グラフ作成）
12	第5章（グラフの編集）
13	総合練習問題-2
14	まとめ
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校でOffice系の科目、派遣会社で社会人向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当

## 【教科書・参考文献】

30時間でマスター Excel2019（実教出版）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	佐藤 薫	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

並べ替えや抽出、集計などのデータベース機能、統計関数などの関数、ピボットテーブルやグラフの集計機能、外部データの利用、分析機能、作業の自動化（マクロ）など表計算データを活用するスキルを習得することが目標。また、複数の機能を組み合わせたり、関数を利用して実践的なデータの活用ができるようになることも目指す。

## 【講義概要】

毎回、実習課題を3～4問作成して提出する。機能の概要と操作説明をよく聞き、作成する文書の目的を考えながら課題を仕上げよう。多くの課題を練習することで機能が身に付くので、必須課題が終わったらチャレンジ問題にもチャレンジしよう。教科書に載っていない機能は補足資料としてプリントまたはPDFを配布します。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベース機能（並べ替え、検索、置換、抽出）
2	複雑な条件での抽出、テーブル機能、大きな表の印刷機能
3	データの集計（自動集計、ピボットテーブルの作成）
4	ピボットテーブルの活用（ピボットグラフ、スライサー、タイムライン）
5	統計関数（RANK、EQ、LARGE、SMALL）、論理関数（IFS、SWITCH）
6	検索/行列関数（VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX）、関数のネスト（IFERROR）
7	文字列操作関数（LEFT、RIGHT、LEN、MID、CONCAT、TEXTJOIN）、文字列の操作（フラッシュフィル）
8	入力規則の設定、条件付き集計の関数（COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIFS、SUMIFS、AVERAGEIFS）
9	実践的なデータ管理（予約票）、シートの保護、ユーザー定義の表示形式
10	シート間の計算（3-D集計、統合、複数シートのグループ化）、グラフの応用（複合グラフ、補助円付きグラフ）
11	WordへのExcelデータの貼り付け、ABC分析、単回帰分析
12	作業の自動化（マクロの自動記録、マクロの登録）
13	VBAの基礎（簡単なプログラムの作成）
14	まとめ
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当。

## 【教科書・参考文献】

30時間でマスター Excel2019（実教出版）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	文書編集基礎	藤田恵子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ひらがなカタカナ漢字記号・特殊記号文字全般を入力できること、社内文書作成、社外案内文書、表作成、箇条書き、段落の設定や複数ページアウトライン管理、図形や画像の挿入編集、差し込み印刷、はがき、名刺作成などビジネスの日常業務に必要な技能を課題作成しながら身につける。

## 【講義概要】

毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A4紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語入力、文章入力のこつ、特殊文字記号、スペース、改行、改ページ、印刷方法、データ保存方法、WORD基本機能
2	文字の書式（太字、下線、文字種類サイズ、横幅拡大%）段落、インデント、タブ設定、タブの使い方、ページ設定
3	段落の書式、行間、ページ当たり文字数、均等割付け、コピー貼り付け、文字の移動、文字や長文の入力練習
4	社内文書作成（定例会議お知らせ、社員研修会案内、忘年会案内）社外文書作成（新社屋移転案内）ぶら下げインデント
5	段落、ルーラー表示、タブ設定、ぶら下げインデント、右インデントの活用、社外文書作成2 切り取り線つくる
6	画像の挿入・編集・移動・サイズ変更・位置・トリミング、ページ番号、ヘッダ・フッタの活用、社外文書作成3
7	表作成、罫線の編集、セル結合、セル内の入力編集、表の移動・配置、住所〒番号から住所表示の方法
8	表作成応用、表の中に画像挿入、列幅変更、行や列の挿入と削除、表の作成、表のコピー
9	表の中に表を作る、罫線の太さ、表の中でSUM計算機能 箇条書きの基本、行頭文字変更、スタイル登録と適用
10	箇条書きの応用、スタイル登録と適用、アウトラインの活用、段組、アウトラインによる複数ページの見出しナビ機能
11	EXCELグラフや表をWORDにリンク貼り付け、テキストボックスの作成、編集、活用
12	差し込み印刷、はがき印刷（宛名面、うら面）、ワードアートと特殊文字、図形のグループ化
13	PDFに変換、WEBに変換、アウトライン、POP広告ポスター作製、400字紙印刷ほか、検定問題練習
14	まとめと復習1
15	まとめと復習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

実教出版WORD30時間、無限大WORD、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策 I		小泉 真理子	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

## 【講義概要】

ITパスポート試験の資格対策を行う。前期は用語の意味を理解し、過去問を解けるようにする。合格者は基本情報技術者試験午前の学習を行う。後期からは授業・定期試験を免除する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ITパスポート試験概要
2	過去問演習（ストラテジ系）
3	過去問演習（ストラテジ系）
4	過去問演習（ストラテジ系）
5	過去問演習（ストラテジ系）
6	過去問演習（ストラテジ系）
7	中間試験
8	過去問演習（ストラテジ系）
9	過去問演習（マネジメント系）
10	過去問演習（マネジメント系）
11	過去問演習（マネジメント系）
12	過去問演習（マネジメント系）
13	過去問演習（マネジメント系）
14	過去問演習（マネジメント系）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		40%	10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。

## 【教科書・参考文献】

ITパスポート過去問題

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2024		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎 必修	講義	ITパスポート対策Ⅱ		小泉 真理子	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
ITパスポート試験合格を目標とする																					
<b>【講義概要】</b>																					
ITパスポート試験の資格対策を行う。過去問を中心に学習する。合格者は授業・定期試験を免除する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ITパスポート試験概要																				
2	過去問演習（テクノロジ系）																				
3	過去問演習（テクノロジ系）																				
4	過去問演習（テクノロジ系）																				
5	過去問演習（テクノロジ系）																				
6	過去問演習（テクノロジ系）																				
7	中間試験																				
8	過去問演習（総合）																				
9	過去問演習（総合）																				
10	過去問演習（総合）																				
11	過去問演習（総合）																				
12	過去問演習（総合）																				
13	過去問演習（総合）																				
14	過去問演習（総合）																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>40%</td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		40%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		40%	10%		100%															
(補足) <ul style="list-style-type: none"><li>成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li><li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li><li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li></ul>																					
<b>【教員紹介】</b>																					
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
ITパスポート過去問題																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024	1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
基礎専門 必修	講義	基本情報対策 I	坂東 佑一	有
単位・時間数 4単位 60時間				

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験(FE)の合格を目指す。科目A及び科目Bの両方の対策を行うが、特に科目A試験の対策に重きを置く。

## 【講義概要】

科目Aの免除試験に合格しないことには、科目Bの対策をいくらやっても無駄になってしまうため、まずは科目Aに注力する。科目Aでは、過去問を大量に配布するので、各人がひたすら反復・暗記を行う。科目Bでは、IPA公開のサンプル問題を配布するので、教員と一緒に一問ずつ解いていくスタイルとする。

回	授業計画及び学習の内容
1	FE科目Aの過去問演習
2	FE科目Aの過去問演習
3	FE科目Aの過去問演習
4	FE科目Aの過去問演習
5	FE科目Aの過去問演習
6	FE科目Aの過去問演習
7	中間試験
8	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
9	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
10	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
11	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
12	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
13	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
14	FE科目Aの過去問演習、科目Bのサンプル問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士)  
NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て、2020年2月～現職

## 【教科書・参考文献】

過去問を配布する

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策	高嶋 知由	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の午前問題分野について、演習・解説を繰り返し行う。☒

## 【講義概要】

計算問題や仕組みは理解すること、用語問題はキーワードを覚えることを中心とする。☒

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎理論
2	ハードウェア
3	情報処理システム
4	ソフトウェア
5	ネットワーク
6	セキュリティ
7	中間試験☒
8	テクノロジー系用語問題
9	データベース
10	データ構造・アルゴリズム
11	開発技術
12	マネジメント
13	ストラテジ
14	総合問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

会計事務所にて税務会計および中小企業のIT化コンサルタントを担当  
大学などで情報処理技術者試験などの資格講座講師

## 【教科書・参考文献】

基本情報科目A問題集（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策	川前 亘	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。

## 【講義概要】

基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習
2	擬似言語 分岐と繰り返し
3	配列、再帰
4	二次元配列
5	探索
6	中間試験対策
7	中間試験解説
8	リスト①
9	リスト②
10	木構造、ハッシュ表
11	整列①
12	整列②
13	文字列処理
14	期末試験対策
15	期末試験解説

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

- ①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題(100マス計算など)
2	計算問題(分数・小数・混合) SPI対策問題
3	計算問題(分数・小数・混合四則演算・法則性) SPI対策問題
4	計算問題(分数・小数・混合四則演算・法則性) 日本語の基礎知識(漢字の読み書き)
5	日本語の基礎知識(漢字の読み書き・四字熟語) SPI対策問題
6	日本語の基礎知識(四字熟語) SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題(角度)
9	図形問題(面積) 計算問題(暗算)
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題(つるかめ算) 日本語の基礎知識(漢字の読み書き)
13	方程式を利用した文章問題(整数・年齢算) SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
  - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

①就職試験（SPIなど）対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現在の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合
15	期末考査

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科 3年制		2024		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー I		今村 朋子	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
<p>学校生活を送るための基本的なルールの徹底と社会生活のマナーの習得を目指します。挨拶の励行に始まり言動や行動に至るまで、なぜ必要なのかを理解し納得した上で習慣化を図ります。ビジネスマナーが単なるルールではなく、コミュニケーションの土台になることを体験し、実践行動につなげます。</p>																					
<b>【講義概要】</b>																					
<p>授業は講義と演習から構成され、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標としています。楽しく学ぶ意識改革と行動変容がテーマです。</p>																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	第1章 専門学校生としてのマナー 授業のルール・学校のルールの確認		マナーとルールの違い 敬礼と挨拶																		
2	「第1章 好感度アップのポイント 身だしなみの基本」		第一印象決定要素 敬語の知識 状況や立場による話し方を理解する																		
3	第2章 外出先でのマナー 公の場や家庭でのマナー		日常の立ち居振る舞いについて																		
4	第2章 接遇について 茶菓接待・ワンランク上のおもてなし		訪問とおもてなしを知る																		
5	第3章 食事のマナー① 箸遣いの基本		食事の作法と歴史 和食・日本料理のいただき方																		
6	第3章 食事のマナー② 洋食・フランス料理・中華料理・デザート		食文化・料理の文化を学ぶ のいただき方																		
7	中間試験																				
8	第4章 書き方のマナー① 手紙・封筒・はがきの書き方																				
9	第4章 書き方のマナー② ビジネス文書		社内文書・社外文書・社公文書について																		
10	第5章 人生の節目のしきたり① 贈答の知識とマナー																				
11	第5章 人生の節目のしきたり② 慶事・弔事のマナー																				
12	第6章 社会人としてのマナー 社会人への心構え、		ビジネスマナーの基本																		
13	第7章 年中行事と暮らしの歳時記 人生時間の歳時記		日本の文化と伝統を知る																		
14	第8章 国際人としてのマナー 国際社会でのマナー		多様性を受け入れる 挨拶、ジェスチャーの違い等																		
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(補足)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
<b>【教員紹介】</b>																					
<p>都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&amp;問題集」日本経済新聞出版社</p>																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
「各クラス共通 「楽しく学べるマナーの基本」																					

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科3年制	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	経営	古郡 聡	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

## 【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

## 【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2024		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I	情報処理科3年制 担当教員	無	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)				100%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】